

TE4 年低周波発信器報告書

年度・学年・出席番号・氏名		2024 年・TE4 年・21 番・氏名 永松日月	
実験タイトル (担当者)	低周波発信器 (新谷)	実施日	2024 年 4 月 16 日
気象条件	気温 湿度		
共同実験者		報告書 提出期限	2024 年 4 月 23 日
		報告書 提出日	2024 年 月 日

報告書提出前のチェック事項

項目	確認事項	学生確認	備考
目的	目的の記載		
実験	実験回路と実験機器の記載。同じ実験を再現できるように記録する。		
実験結果	表のスタイル（タイトル、表番号、パラメータ、単位、有効桁）		
	グラフのスタイル（タイトル、図番号、横軸・縦軸のラベル及び単位、横軸・縦軸のスケール）		
	グラフの表示（パラメータの表示、実験結果はプロット、計算結果は直線・カーブ、近似式は数式表示）		
考察	指示された考察をしているか。		
	定量的・客観的な考察になっているか。		
研究事項	研究事項をしているか。		
参考文献	参考にした書物、論文、雑誌、ホームページがあれば、必ず記載する		

実験評価シート

年度・学年・出席番号・氏名		2024・TE4 年 番・氏名_____	
実験タイトル (担当者)	低周波発信器 (新谷)	実施日	2024 年 月 日

A. 実験に対する取り組み及び技術の習得 に対する評価 (20%)

項目	満点	学生 (確認)	担当者 (コメント)	評点
位相形発振回路の働きを実験で確かめた	10			
ウィーンブリッジ形発振回路の働きを実験で確かめた	10			
評価 (A)	20			

B. 報告書に対する評価 (80%)

項目	満点	学生 (確認)	担当者 (コメント)	評点
実験回路・実験方法を適切かつ簡潔に <u>まとめている</u>	20			
位相形発振回路の実験をまとめている	15			
ウィーンブリッジ形発振回路の実験をまとめている	15			
考察が適切にできている	15			
研究事項が適切にできている	15			
評価 (B)	80			

項目	A 評価	B 評価	報告書評価	再提出評価
点数				
連絡事項及び要望				